この解答速報の著作権はＴＡＣ(株)のものであり，無断転載・転用を禁じます。

第　３　問　解　答
（経　済　学）

問題 1

問 1　Ｘ財の需要関数 $x=\dfrac{M}{2p_x}$　Ｙ財の需要関数 $y=\dfrac{M}{2p_y}$　効用 $u=\dfrac{M^2}{4p_xp_y}$

問 2　Ｘ財の需要関数 $x=\dfrac{M}{2(1+t)p_x}$　Ｙ財の需要関数 $y=\dfrac{M}{2p_y}$

間接効用関数 $u=\dfrac{M^2}{4(1+t)p_xp_y}$

問 3　予算制約式は横軸に x，縦軸に y をとった平面において，点 $(x_0,\ y_0)$ を通り，傾きが $-\dfrac{p_x}{p_y}$ の直線で示される。

問 4　$\dfrac{tM}{2(1+t)}$

問 5　Ｘ財の需要関数 $x=\dfrac{(2+t)M}{4(1+t)p_x}$　Ｙ財の需要関数 $y=\dfrac{(2+t)M}{4(1+t)p_y}$

間接効用関数 $u=\dfrac{(2+t)^2M^2}{16(1+t)^2p_xp_y}$

問 6　問 5 の一括固定税の方が 問 2 の個別物品税の場合よりも，効用が $\dfrac{t^2M^2}{16(1+t)^2p_xp_y}$ だけ大きい。

問題 2

問 1　供給量 20　財価格 60　厚生の損失 400

固定費用が満たす条件 $F<800$

問 2　名称 限界費用価格規制

価格 20　総余剰 1600

問 3　固定費用 F が総余剰1600よりも小さい。

問 4　基本料金 5　従量料金 20

この解答速報の著作権はＴＡＣ(株)のものであり，無断転載・転用を禁じます。

問題 3

問 1　1

問 2　3

問 3　3

問 4　ピグー税

問 5

技術的外部性にかかわる権利の帰属が明確ならば，外部性の発生者が外部性を発生させることができる権利をもつか，外部性の受け手が外部性を受けない権利をもつかの，いずれの場合においても，外部性にかかわる当事者間の自発的な交渉によって，社会的に最適な取引量（効率的資源配分）が実現できるという命題がコースの定理である。この定理が成立するためには，補償金の授受を除いて，交渉にかかわる費用が無視しうるほど小さいことや，補償金の授受に伴って限界損失および限界利潤が変化しないことも必要である。

問題 4

問 1　9.6

問 2

公共財とは，複数の人々が同時に等量，同一の財・サービスを消費できるという非競合性と，対価を支払わない人々の消費を排除できないという非排除性の２つの性質を有する財である。

問 3　$\frac{48}{7}$

この解答速報の著作権はＴＡＣ(株)のものであり，無断転載・転用を禁じます。

第　４　問　解　答
（経　済　学）

問題 1

(1)　（ア）　外国為替相場　　（イ）　為替介入　　（ウ）外貨準備（ないしは外貨）

(2)　（エ）　低 下　　（オ）　乗 数

（注）（ア）については，「為替レート」も可

（イ）については，「外国為替平衡操作」も可（※「為替介入」の正式名称は，「外国為替平衡操作」である。）

問題 2

(1)　正 ・ 誤

誤っている理由　長期金利が短期金利の水準を上回り，イールドカーブが右上がりとなる状態が順イールドであり，短期金利が長期金利の水準を上回り，イールドカーブが右下がりとなる状態が逆イールドであるため。

(2)　正 ・ 誤

誤っている理由　総需要の構成要素の投資とは，設備投資や住宅の建設･購入などの実物的投資のことであり，株式や国債の証券投資は含まれないので，証券投資が増えても，証券投資の増加自体が財･サービスの総需要の増加ではないため。

問題 3

問 1　250 万円

理由　問題の条件の下では，個人の毎年の消費は均等となる。年間消費額をC万円とすると，今後50年生きる題意の個人の一生涯の予算制約は，“$50C=-500$万円＋300万円×40年＋1000万円”である。この予算制約より，$C=250$万円を得る。

問 2　②

理由　投資の利子弾力性（及び消費の利子弾力性）がゼロで，ＩＳ曲線が垂直の場合，貨幣供給量の増加により利子率が低下しても，すなわちＬＭ曲線が右下方にシフトしても，投資（と消費）が増加しないため，Yは変化せず金融政策は無効になる。

問 3　$w=\eta\times\mu+(1-\eta)\times b$

問 4　20 %

この解答速報の著作権はＴＡＣ(株)のものであり，無断転載・転用を禁じます。

問題 4

問 1

$r = -\frac{1}{10}Y + 17$

問 2

$r = \frac{1}{10}Y + 12 - \frac{25}{P}$

問 3

$Y = 150$

問 4

$Y = \frac{125}{P} + 25$

問 5

$P = \frac{5}{4}$

$Y = 125$

問 6

長期では，いかなる物価水準に対しても貨幣賃金率の伸縮的な変化によって，常に労働の需給が均衡し，完全雇用が実現する。よって，長期では，どのような物価水準に対しても完全雇用下の生産水準である完全雇用国内総生産（Y_f）が総供給として実現するため，長期の総供給曲線はY_fの水準で垂直となる。

問題 5

問 1

$\pi_1 = 2\bar{\pi}$

$x_1 = 2\bar{\pi}$

問 2

$i_2 = 2.5\bar{\pi}$

$\pi_2 = 1.5\bar{\pi}$

$x_2 = -\bar{\pi}$

問 3

$i_3 = 1.75\bar{\pi}$

$\pi_3 = 1.25\bar{\pi}$

$x_3 = -0.5\bar{\pi}$